

地球社会基盤学専攻	研究分野	交通・防災まちづくり	Lab. ID GC07
研究室Webサイト			
研究課題の概要			
<p>・3次救急医療・救急搬送の高度化ならびにドクターヘリ・ドクターカーの導入評価に関する研究 地方都市においては、3次救急医療のサービスレベルの地域格差が大きい。本研究では、3次救急搬送を対象とした医療情報デジタル伝送システムの最適化ならびにドクターヘリ・ドクターカーの最適導入地域の検討を行っている。</p> <p>・ビッグデータを活用した観光地評価とクルーズ観光に関する研究 twitterに着目し、莫大な数の観光中のつぶやき(「旅のつぶやき」)データを収集し、観光地の評価を行う手法を開発している。さらに、クルーズ旅客を対象にGPSやライフログカメラを用いて観光客の訪問地・移動経路・昼食のメニュー・お土産の種類など「おもてなし」をさらに向上させるための要因分析を行っている。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>・ゼミ 週2回のゼミ発表を通じて、研究の進捗が今後の方針を議論する。</p> <p>・学会活動 修士論文・卒業論文の成果を国内外の各種学会で発表する。 土木学会、土木計画学研究委員会、交通工学研究会、日本都市計画学会、日本地震工学会、自然災害学会、EASTS, USMCA</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>4月に研究室配属が決定すると、研究テーマ決め、歓迎会を兼ねた春合宿が開催される。6月には、土木計画学研究発表会(春大会)があり、研究室から数名が参加して研究発表を行う。8月には卒業研究・修士論文の中間発表会が行われ、その後、夏合宿が開催される。9月には土木学会全国大会、10月には、日本地震工学会、地震工学研究発表会、USMCA、11月には、土木計画学研究発表会(秋大会)が開催され、学会シーズンとともに忙しい研究室生活を過ごすことになる。12月には忘年会が開催される。以降、最終発表会に向けて研究の追い込みに入る。</p>			
教員からのメッセージ			
<p>交通・防災まちづくり研究室では、交通(自動車・新幹線・飛行機・クルーズ)・地域公共交通・救急医療・観光・防災・ビッグデータを研究対象に幅広い研究を行っています。研究室配属後は学部で学んだ知識に加えて、様々な分析方法、データ取得方法、GIS、交通流シミュレーションソフトなどの勉強をしながら、研究を進めていきます。また、災害が起きると現場に向かい被災地の被害調査を実施するなど、現場に軸足を置く研究も行っています。</p>			
研究室連絡先メールアドレス	森崎裕磨<morisaki@staff.kanazawa-u.ac.jp>		